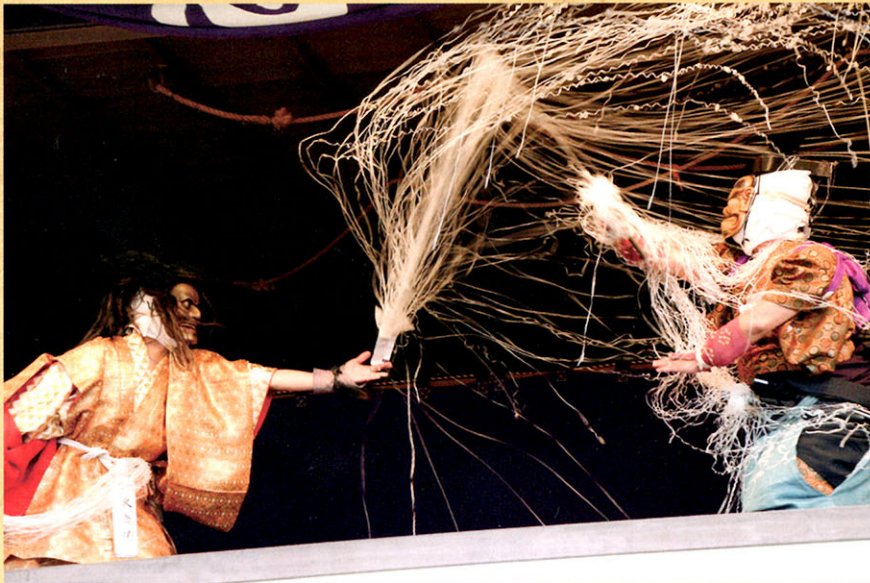


国指定重要無形文化財 嵯峨大念佛狂言

嵐山昇龍苑 特別公演



2022年

11月12日(土)

開演 11:30~/14:30~[2公演]

会場:嵐山昇龍苑

終演後、
おもてづけ
体験会も
行います。



嵯

嵯峨大念佛狂言は、京都市街の北西に位置する清凉寺境内の狂言堂で年に数回開催されます。私たちがよく知る能楽の狂言と嵯峨の「大念佛狂言」とはだいぶ様子が違います。その特徴は 1.狂言師というプロが行うのではなく、演者も囃子も裏方もすべて民間人の手で進められていること 2.すべての役者が面をつける「仮面劇」であること 3.セリフのない「無言劇」であること 4.「融通念仏」と「大念佛会」に連なる宗教的な背景を持っていることなどがあげられます。

その歴史は古く、言い伝えでは鎌倉時代に融通念仏ゆうずつねんぶつをひろめた円覚上人えんがくじゆうまんしやうにんどうぎよ道御の創始とされています。歴史的な資料からみても、嵯峨大念佛狂言には室町時代(享禄2年[1529])の銘を持つ面が伝わっており、すでに500年近い歴史を有していると考えられます。この他にも、美術的にも宗教的にも価値の高い数々の資料が伝わっています。

「嵯峨大念佛狂言」は、昭和61年に国指定重要無形民俗文化財に指定された民俗芸能です。現在は、約二十番の演目が継承されています。

嵐山昇龍苑

☎ 075-873-8180

<http://www.syoryuen.jp>

演目「土蜘蛛」あらすじ

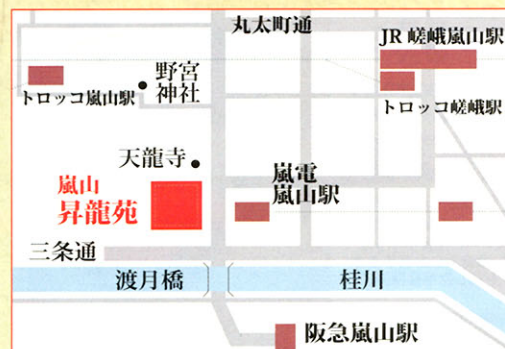
清和源氏の嫡流・源頼光は土蜘蛛の精に夜な夜な悩まされていた。

ある夜家来の渡辺綱と平井保昌と館で酒宴をする。綱、保昌たちも主君を案じながら宿直の間に下がる。

すると土蜘蛛が現れ、頼光に糸をかけて襲いかかる。頼光が太刀を抜いて切りつけると土蜘蛛は消え去ってしまう。

騒ぎに気付いた綱らが駆けつける。頼光は二人に土蜘蛛退治を命じる。二人は櫻を掛け松明を点して探索に入る。

保昌が土蜘蛛の巣を探しあて追い込んでいく。そして二人で力を合わせ土蜘蛛を退治する。最後に土蜘蛛の首をとって意気揚々と引き上げる。



JR 嵯峨嵐山駅徒歩 10分 / 阪急嵐山駅徒歩 10分

嵐電嵐山駅
真向いスグ